

敦賀発電所で原子力防災訓練を実施しました。

日本原子力発電株式会社

敦賀発電所では平成26年2月26日に、万一の災害に備えて日頃から繰り返し行っている訓練の成果を確認するため、当社及び協力会社の社員約250名が参加して防災訓練を実施しました。

この訓練は、敦賀市で震度6強の地震が発生、発電所のすべての交流電源を失ったとの想定のもと、発電所に災害対策本部を設置し、本店等と連携しながら、発電所の災害対策本部の指示による事態収束の対応訓練を行いました。

～発電所以外の事業所とも連携した訓練を行いました～

敦賀発電所 災害対策本部（緊急時対策室建屋）における対応訓練



緊急時の対応の拠点として、免震構造の緊急時対策室建屋内に災害対策本部を設置し、原子炉など施設の状況を確認しながら、発電所以外の事業所との連携を図り、必要な対応を検討し安全確保等の対応を行いました。

また、関係機関等への通報連絡を迅速に行いました。



本部長（発電所長）による状況確認

連携

本店 総合災害対策本部（東京）



通信回線が使用できない状況を想定し、衛星電話を使用した発電所災害対策本部との連携訓練を実施しました。

連携

必要な対応を
指示

対応状況の
報告

発電所内の各現場における対応

※それぞれの訓練の詳細は裏面にてご紹介します

災害対策本部支援組織（敦賀総合研修センター） 発電所へ要員や資機材などの支援を行う組織



衛星電話やテレビ会議システムを使って発電所災害対策本部との連携訓練を実施しました。



土砂等の撤去訓練

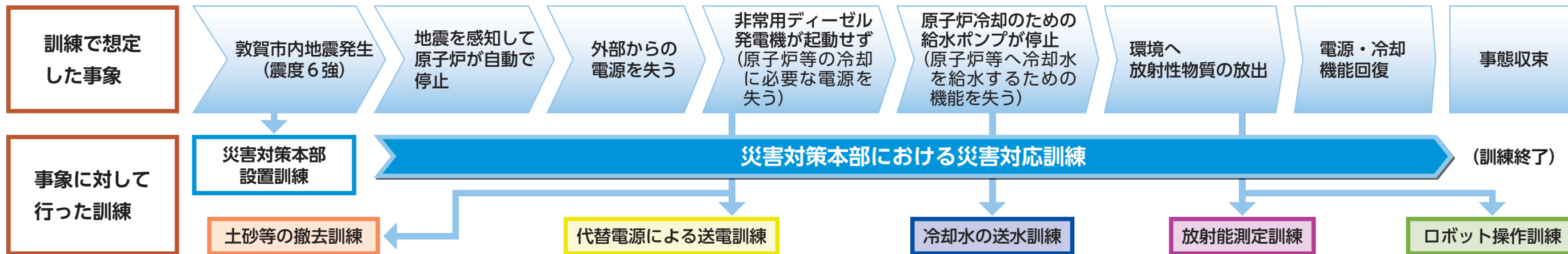


代替電源による送電訓練



冷却水の送水訓練

～さまざまな事象を想定し、それらに対応する訓練を行いました～



重機による土砂の撤去

道路が土砂崩れ等で電源車などが発電所に通行できなくなった状況を想定し、重機で土砂を撤去しました。



高台から重機（ホイールローダ）が現場へ出動



重機（ホイールローダ）にて土砂を撤去

電源車の起動、ケーブル接続

原子炉等の冷却に必要な電源を送電するために津波の影響を受けない高台に配備した高圧電源車を起動しました。また、コンパクトで移動可能な低圧電源車を現場に急行させ、電源を供給するためのケーブルの接続を行いました。



高圧電源車の起動



低圧電源車へのケーブルの接続

送水ホース延長、接続

原子炉等の冷却に必要な水源を得るため、大容量ポンプ車および可搬式ポンプを設置するとともに送水ホースの延長、接続等を行いました。



大容量ポンプからの海水を送るためのホースを延長



専用配管へのホースの接続

放射性物質の測定

作業員が、付着した放射性物質を構外に持ち出さないよう、放射性物質の測定を行いました。



放射線が高い場所での作業

放射線量が高い場所で作業できる調査用ロボット出動を緊急事態支援センターに要請し、発電所で操作を行いました。



日本原子力発電株式会社 敦賀地区本部 業務・立地部

お問い合わせ先 〒914-0051 福井県敦賀市本町2丁目9-16 TEL 0770-25-5713 (土日祝日を除く9時～17時)

敦賀発電所安全対策および敷地内破砕帯調査に係る情報については、当社ホームページにも掲載しています。 <http://www.japc.co.jp>